

ぎなん

10月
(1)岐南中学校教育目標
自ら動く

【前期後半に向けて！】

夏休みが終わった時に、生徒代表の言葉が1年6組の川口大翔くんの言葉でした。遅くなってしまったことをお詫びいたします。1年生は学年通信に載っていましたが、他の学年のみなさんにも読んでいただけたらと思います、学校だよりでも紹介いたします。

僕の「めざす自分」は、「仲間のために 自分からお手本として 見せられる自分」です。僕は、「入学した時の自分と比べて今の自分は、成長することができた。」と、自信をもって言えます。

僕は、入学した時はとても不安で、学校生活に慣れていったり、様々な活動を覚えたりして慣れていくのがとても大変でした。でもその中で、「自分にできることは何か」を考えて動くことができたと思います。「自分にできること」それは、新しく始まった生活の中でも「できること」ということです。

僕も自分のできることとして、予鈴が鳴り終わるまでに着席できるように、仲間のために進んで動いています。授業の中で困っている仲間に積極的に関わることでもできています。合唱では、自分たちの合唱をより良いものにしようと、音楽の授業で習ったことを活かして歌ったり、合唱できる時間を少しでも長くしようと、朝練をしたり、文化委員中心に呼びかけ合い、合唱に一生懸命に取り組むことができました。給食配膳では、牛乳やストローを配ったり、できる時には、配膳のワゴンを開けたりと自分にできることを進んでやっています。大縄では、クラスの心を一つに協力して、笑顔で締めくくることができました。あいさつでは、あいさつ強化週間には、クラスの半分以上の人が毎日あいさつ活動に参加していました。移動教室の時には、すれ違いあいさつを心がける人も増え、あいさつをしようという繋がりを創ろうという思いが見て取れました。しかし、取組が終わってしまうと、あいさつ活動に参加する人が減ってしまいます。クラスの一員として、一人一人が思いやりをもってあいさつ活動に参加することがとても大切だと思いました。「思いやりをもって」というのは、「誰かのために」という考えも大切ですが、「一員として」という考え方も大切です。楽しいことは、一人一人が一丸となって協力し、何かを得る達成感や、何かをみんなで成し遂げ、自分たちの良さを発表することでも得ることができると思っています。たとえば、クラスで協力して、何かの賞を得る達成感だったり、日常生活の色々な場面で、一人一人が一生懸命取り組んだりして、すごいことを成し遂げられれば、「やってよかった」と、また違う楽しさを得られるはずです。そのために、クラスや仲間と一生懸命やろうと決めたものは、一生懸命やるのが大切だと思っています。誰か一人が頑張っている時に、その人の努力が無駄にならないように、みんなで作り上げていけるように、努力することが大切だと思っています。前期は、このことを自分で実践するために、「仲間のために 自分からお手本として 見せられる自分」を「めざす自分」に設定しました。一人一人が一生懸命に頑張ることができれば、きっと楽しいと思えることができるはずです。

夏休みは、思いっきり楽しむだけではなく、一人で頑張ることを大切にして、自分のために頑張る期間として、一生懸命に取り組めたと思います。テスト勉強は計画的に進め、5教科のワークの範囲をそれぞれ2周進めることができました。(今後変わるかもしれませんが) また、夏休み中に裁判体験学習に参加し、裁判や、その仕事についてなど、たくさんのことを学び、これからの将来の選択肢についても考えるきっかけになったと思います。夏休みは、これからの目標や自分を決めたり、将来の選択肢を広げることのできたりする大切な期間だと思っています。僕は、夏休みを自分のために一人でやり切ることができたと思っています。

4th step「実績と契約」では、違うことにも力を入れていきたいです。それは、6組から学年の雰囲気を作っていくということです。6組では、「他の組からすごいと思われるクラスにしたい。」という思いをもっている人がたくさんいます。これからは、思いではなく一人一人が行動に移していくことが大切だと思っています。一人の頑張りが無駄にならないように、一人一人が思いをもって行動に移すことができれば、「自分たちのクラスはすごい」と胸を張って言えるはずです。クラスや燈学年の一人一人が、一生懸命努力して、すごいものを創っていくために、今発表したことを通して、仲間と協力して、初めてのスポーツステーションに力を入れたり、後期組織づくりにも前向きに取り組んだりして、みんなで作り上げて楽しく笑顔で過ごせるように頑張りたいです。